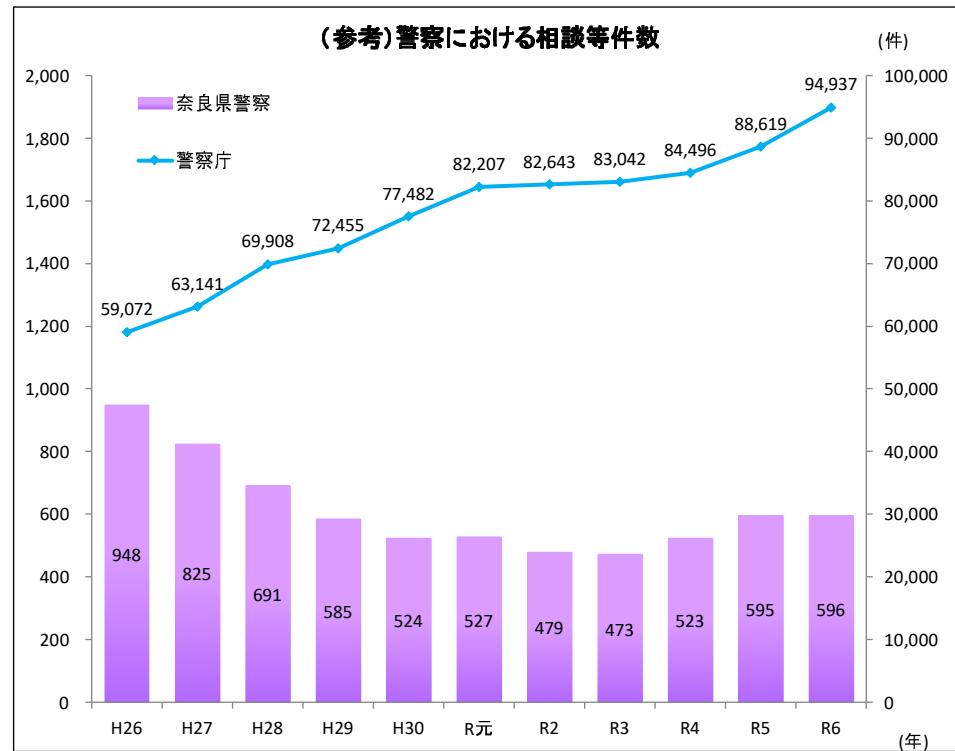
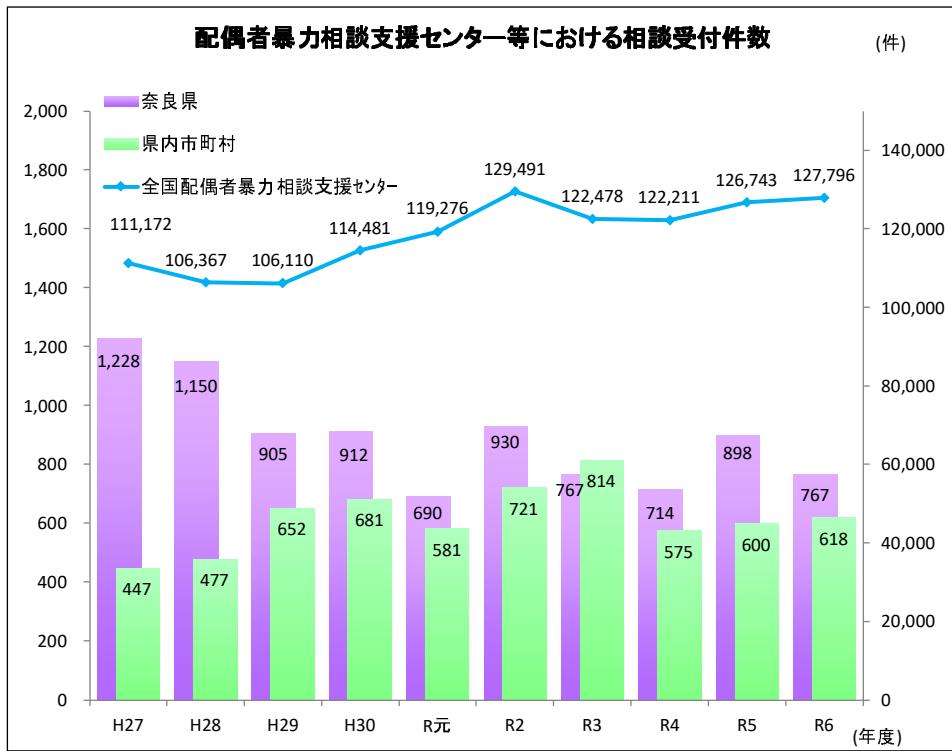


令和6年度奈良県のDV相談の状況

資料1



- 奈良県における令和6年度の相談受付件数は、767件であり、前年度に比べ、131件（14.6%）減少した。

※奈良県数値は、中央こども家庭相談センター（配偶者暴力相談支援センター）、高田こども家庭相談センター、女性センターの合計。

※全国配偶者暴力相談支援センターの相談受付件数については、R2年度より開始されたメール・SNS等を活用した「DV相談プラス」での相談件数（※）を除く。
 (※) (参考) R2 : 52,697件、R3 : 54,489件、R4 : 47,971件
 R5 : 44,972件、R6 : 45,858件

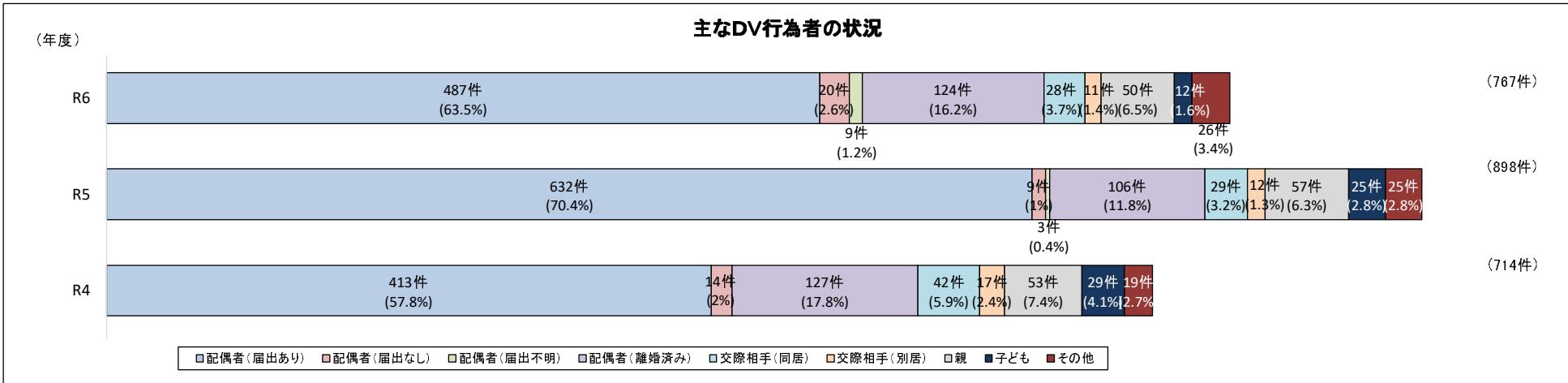
参考添付：警察における相談等件数（警察庁・奈良県警HPより）

- 奈良県警察における令和6年の相談等件数は、596件であり、前年に比べ、1件（0.2%）増加した。

- 警察庁（全国警察相談等件数の合計）における令和6年の相談等件数は、94,937件であり、前年に比べ、6,318件（7.1%）増加した。

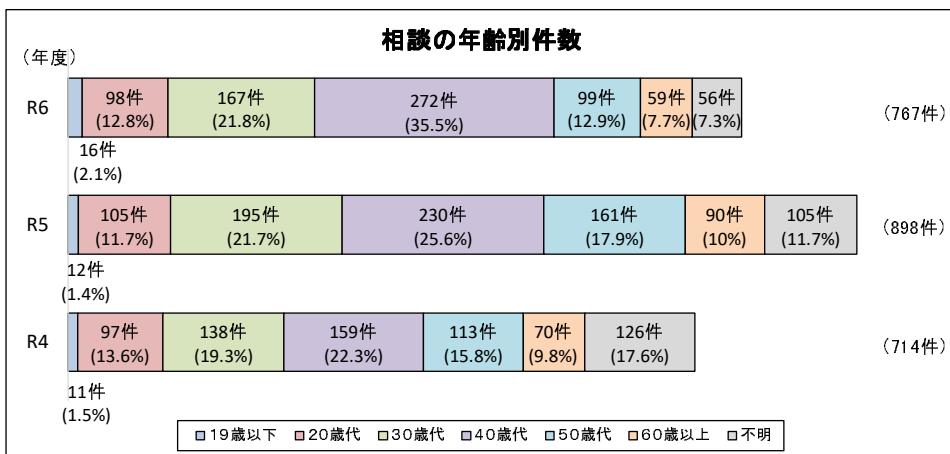
※警察における相談等件数は、当該年の1月～12月における相談等件数の合計。

○奈良県が受付したDV相談件数の状況



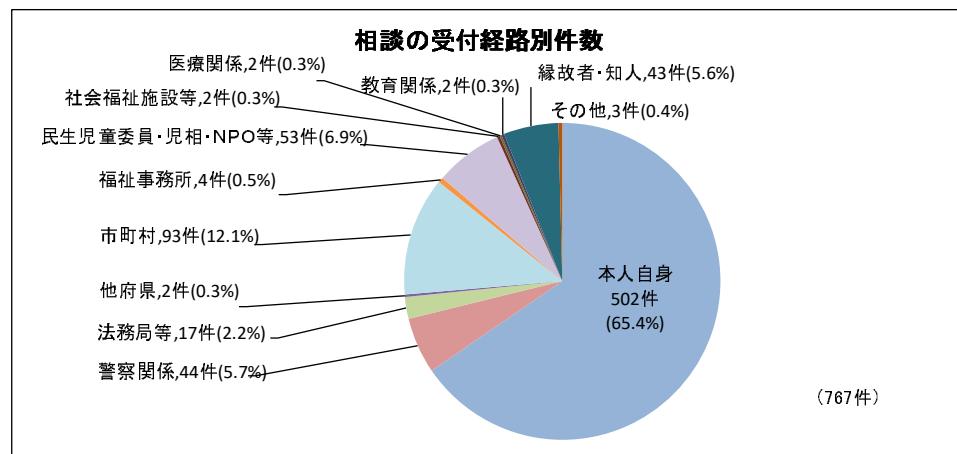
- ・奈良県における令和6年度の相談の主なDV行為者は、「配偶者(婚姻届出あり)」が487件（63.5%）で最も多く、次いで「配偶者(離婚済み)」が124件（16.2%）であり、次いで「親」が50件（6.5%）。

- ・前年度と比較すると、「配偶者(婚姻届出あり)」が145件（22.9%）減少し、「配偶者(離婚済み)」が18件（17.0%）増加した。



- ・奈良県における令和6年度の相談の年齢別件数は「40歳代」が272件（35.5%）で最も多く、次いで「30歳代」が167件（21.8%）と約6割を占めるが、すべての年代からの相談がある。

- ・前年度と比較すると、「50歳代」が62件（38.5%）減少し、「40歳代」が42件（18.3%）増加した。



- ・奈良県における令和6年度の相談者の受付経路は「本人自身」が502件（65.4%）で最も多く、次いで「市町村」が93件（12.1%）。